

大林式 飛砂防止処理

ダストストッパー

ダストストッパーとは従来工法で効果の弱かったクレイグラウンドにおける飛砂防止を、飛躍的に向上させる新しいタイプの飛砂防止材です。

ダストストッパー

(((スゴさの秘密! その1)))

従来工法の塩化カルシウム・塩化マグネシウムなどの鉄サビに弱い無機系の飛砂防止材とは全く形態の異なる新しいタイプの飛砂防止材。

ダストストッパー

(((スゴさの秘密! その2)))

E-ソイルの繊維構造による飛砂防止効果をより強固に補充する有機保湿帯形成材。

砂ぼこり 警告報発令中!

ははは!
砂を
飛ばして
みせようぞー!



ダストストッパー

(((スゴさの秘密! その3)))

雨水に溶けて流亡しないため、グラウンドの表層に長く残留し長期に作用します。

ダストストッパー

(((スゴさの秘密! その4)))

ダストストッパーは、人および植物にやさしく害を与えないので、芝生地の近くでも使用可能。(塩化カルシウムでは芝生が枯れます。)

塩化カルシウムなどの無機系飛砂防止材との併用は、お互いの効果が相殺されて飛砂防止作用を弱めるため、ダストストッパー施工したグラウンドには、塩化カルシウムなどの従来の飛砂防止材は使用しないでください。



ダストストッパー

有機保湿帯形成材

150袋入り



大林式 飛砂防止処理 dust stopper ダストストッパー

ダストストッパーとは従来工法で効果の弱かったクレイグラウンドにおける飛砂防止を、飛躍的に向上させる新しいタイプの飛砂防止材です。

ダストストッパーの施工

◀◀◀ dust stopper

〈施工手順〉

- ①E-ソイル土壌改良材は、これまでと同じように施工し転圧する。
- ②飛砂防止用ダストストッパー加工化粧砂を散布。(ダストストッパーを粗目の化粧砂で薄め1㎡あたり2~5%散布する。)
- ③ブラシかけし、仕上げする。

〈取扱い時の注意点〉

- ①化粧砂は、粗目の出来る限り乾燥しているものを使用する。特に乾燥させる必要はないが、雨でベタベタしているものは好ましくない。
- ②ダストストッパー加工化粧砂をグラウンドに散布した後、(a)湿度が多いか、(b)ダストストッパーの混合不良の時、粒状のゲルができ、ベタつく時があるが1~2日すると消える。万一砂の水分が多く、ゲル状(コンニャク状)になった時は、コンニャク状のものがなくなるまで砂に良く混合する。
- ③開封後は、塩化カルシウムと同様に湿度を避け、袋は閉じて保管する。

〈施工断面図〉



ダストストッパー

有機保湿帯形成材

150袋入り

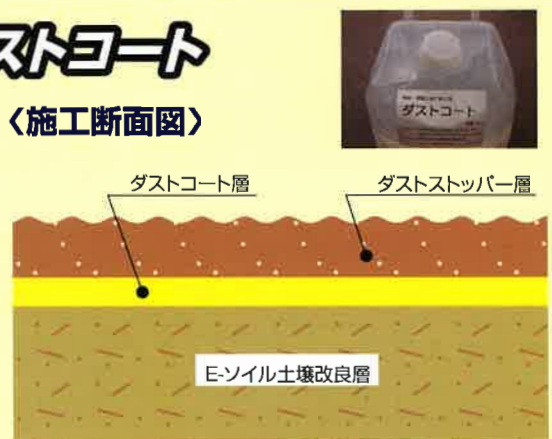


	ダストストッパー	従来工法(塩化カルシウム)
1.主材	有機保湿帯形成材	無機質潮解性材
2.作用	大気中の湿度を取り込みグラウンド表層に保湿させ、粘性表層を作り、E-ソイルの飛砂防止を強固に補充する。	大気中の湿度により塩化カルシウムが潮解(水に溶ける)し、ベタつかせて飛砂を防止する。
3.効果期間	有機保湿帯形成材は雨水に溶けて流亡しないため、グラウンド表層土に長く残留するため長期に作用する。同一条件の場合、塩化カルシウムの2~3倍。	塩化カルシウムは雨水に簡単に溶けて流亡するため効果期間は短い。
4.環境面へのマイナス	①遊具・フェンス等の錆 ②芝生等の植物に対して ③地下水・河川に対して	①遊具を著しく錆びさせる ②隣接すると芝生・樹木を塩害で枯らす ③富栄養化し、著しくヘドロを発生させる
	全くなし 全く害作用無し ほとんどマイナス作用無し	

DUSTCOAT さらに強力な飛砂防止にダストコート

ダストコートとは、クレイグラウンドなどの飛砂や流亡を抑制する、液状の有機親水造膜形成材。水で希釈したものを散布して使用する。ダストストッパーとの併用により、飛砂や流亡の防止能力をより強力に補佐する。

〈施工断面図〉



飛砂及び流亡に対する性能比較表

判定基準：◎優 ○良 △可 ×不可

飛砂防止材	ダストストッパー+ダストコート	ダストストッパーのみ	塩化カルシウム
表層	大林式クレイ工法		一般クレイ工法
通常気象時の飛砂防止	◎	◎	△
強風時の飛砂防止	○	△	△~×
豪雨時の表層土流亡防止	○	△	×

株式会社大林環境技術研究所のホームページを、ぜひご覧下さい

大林式工法に関する情報が満載。各種工法の特徴など、緑化工法の詳しい内容を、公開しています。

株式会社大林環境技術研究所 <http://obayashi-eco.co.jp>

本社 〒521-1341 滋賀県近江八幡市安土町上豊浦 1435 倉庫 〒521-1341 滋賀県近江八幡市安土町上豊浦 1664-1

TEL 0748-46-6810 FAX 0748-46-6064 E-mail obayashi@basil.ocn.ne.jp